アメリカ経済論Ⅰ

科目ナンバリング　ECP-325
選択　　2単位

李　　素軒

1. 授業の概要（ねらい）

この授業では、20世紀以降世界経済をリードしてきたアメリカ経済の歴史的発展過程を概観し、現代アメリカ経済の特徴及び課題について学びます。1929年世界大恐慌から2008年グローバル金融危機、近年のトランプ現象やパンデミックまで、アメリカ経済の変遷を辿りながら、関連する論点を解説します。

2. 授業の到達目標

(1)アメリカ経済の歴史的発展過程についての基本知識を習得する。
(2)現代アメリカ政治経済の主要な論点に関する背景知識を習得し、自分なりの視点で読み解き、他者に説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点：30%（授業中の発言、リアクションペーパー）
小テスト：30%
期末レポート：40%

小テストやレポートの解説・評価基準はLMSへ掲載します。

4. 教科書・参考文献

教科書
特に無し。
参考文献
河崎信樹、河音琢郎、藤木剛康編著　現代アメリカ政治経済入門　ミネルヴァ書房
柴田徳太郎編著　世界経済危機とその後の世界　日本経済評論社
柴田徳太郎著　資本主義の暴走をいかに抑えるか　ちくま新書

5. 準備学修の内容

前回までの講義内容についての小テストを授業期間中に2回実施するので、講義資料を復習し、ポイントを要約・説明できるようにしてください。小テストの日程は前の週の授業中に告知します。

6. その他履修上の注意事項

アメリカ経済に関するニュースをチェックしたり、授業内容に関連する映画、ドキュメンタリーなどのコンテンツに触れたりしながら自分との接点を見つけると、学習の動機づけにも繋がると思います。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション:授業の概要と趣旨、進め方、成績評価方法等について説明する
【第2回】　歴史的発展過程①：大恐慌とニューディル体制について学ぶ
【第3回】　歴史的発展過程②：資本主義の黄金時代について学ぶ（LMSによるオンライン授業:オンディマンド型）
【第4回】　歴史的発展過程③：新自由主義の台頭について学ぶ
【第5回】　歴史的発展過程④：1990年代以降のアメリカ経済情勢について学ぶ
【第6回】　産業構造の変化について学ぶ
【第7回】　対外経済関係について学ぶ
【第8回】　ドル基軸通貨体制について学ぶ
【第9回】　金融化と金融危機について学ぶ
【第10回】　金融政策について学ぶ
【第11回】　財政政策について学ぶ
【第12回】　雇用構造の変化と格差問題について学ぶ
【第13回】　移民政策について学ぶ
【第14回】　米中貿易戦争と新冷戦について学ぶ
【第15回】　講義を総括する